

やまびこ支援学校 令和7年度 第2回 学校運営協議 議事録

日 時:令和7年10月21日(木)13:30~15:30

場 所:山梨県立やまびこ支援学校 視聴覚室

議事

1. いじめ防止対策について(教頭)

- いじめ防止対策の実施状況
 - 本校では、いじめ防止対策として、年3回のアンケートを実施している。
 - 第1回(4月~6月)、第2回(7月~9月)の実施結果においては、いじめにつながるような報告はなかった。
 - 本校には自ら意思を表明することが難しい児童生徒も多く在籍している。そのため、教職員が表情や様子を注意深く観察し、「いつもと違う」という点をしっかり把握するように努めている。
 - 普段と違う様子が見られた際には速やかに学校から保護者の方々へ連絡するよう連携を密にしています。
 - 今後、第3回(3学期)のアンケートも含め、引き続きいじめ防止対策につながる取り組みを進めていく。
- 質疑応答
 - (委員)報告がなかったことについて承知した。引き続き、きめ細やかな観察と家庭との連携をお願いする。

2. 交流及び共同学習について(総務部主任)

(1)交流及び共同学習の目的の説明

- 各交流の計画と実施状況の報告(写真で紹介)
 - 学校間交流:
 - 小学部:猿橋小学校
 - 中学部:猿橋中学校
 - 高等部:上野原高等学校、都留高等学校(作品交流等)
 - 地域交流:
 - 小学部:読み聞かせグループ(新規交流先、現在検討中)

- 中学部:交流先を検討中(昨年度までは地域の美容室と交流)。委員の皆様からご意見をいただきたい。
- 高等部:大月商店街協同組合、デイサービスセンターやまゆり、大月市保健活動推進委員会の「大月キッチン」など。寄宿舎の生徒は都留高等学校の生徒と交流。
- **居住地校交流:**
 - 小学部:6校の小学校と交流。
 - 中学部:猿橋中学校と交流。
- **地域交流先に関する意見交換**
 - (委員)中学部の交流先について、この近辺のお寺でも協力したいという話がある。昔は子どもたちの集団生活の場でもあり、お寺側で協力できることがあるかもしれない。また、私自身は農作業をしているため、高齢者が学校に来て子どもたちと一緒に土いじりや草刈りなどをする地域交流も考えられる。10月30日の校内カフェに老人会の方々が来校予定。
 - (総務部主任)大変ありがたい御意見。いただいた御提案をもとに、学校で具体的に検討を進めていく。

(2)PTA 活動の情報交換会について(PTA 会長:運営協議会委員)

- **情報交換会実施の背景と目的**
 - 昨年度の学校評価における保護者からの意見を受け、保護者同士が顔を合わせ、様々な情報を交換する機会が必要であるとの認識から、本年度より学期に1回、保護者同士の情報交換会を計画的に実施している。
 - 短期的・長期的な悩み(療育手帳の取得、子どもの銀行口座の開設、卒業後の進路、親亡き後の生活など)について、学部異なる保護者間で情報共有が行われ、非常に参考になっているという声が上がっている。
- **活動を通じての課題と提言**
 - 知的障害学校 PTA 全国大会への参加を通し、学校や家庭の力だけでは限界があることを痛感している。
 - 地域の方々の協力を得るためには、学校にどのような児童生徒がいるか、卒業生はどのような生活を送っているかなどを、個人情報に配慮しつつ積極的に地域に発信していく必要があると考えている。
 - 学校運営協議会は、様々な立場の方の意見が集まる場であり、委員の皆様には、学校へ遠慮なくご意見を発信していただき、地域と学校をつなぐ「ハブ」としての役割を担っていただきたいと強く願っている。

3. 学校評価の中間報告について(教頭)

- **評価アンケートの実施状況報告**
 - 中間評価として、教職員を対象とした学校評価アンケートを実施した。保護者への評価アンケートは 12 月に実施予定。
- **評価結果の概要**
 - 教員からの肯定的意見(「まずまず良い」「十分良い」)は、ほぼ全ての項目で 80%～100%と高い割合であった。
 - 唯一、「教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」の項目が 78%と、80%を下回った。この項目は例年 70%台の数値だが、前年度からは 6%上昇した。
 - 経験年数等を考慮した適材適所の配置や、仕事の偏りが生じないように配慮しながら取り組んでいる。引き続き 80%以上を目指し、努力していく。
 - 数値が下落傾向にある項目については、教職員間のコミュニケーションを密にし、改善に努めていく。
- **質疑応答**
 - (委員)資料のパーセンテージの意味(否定的意見と肯定的意見の割合)について説明を受け、理解できた。

4. 前回の意見について回答

(1) ICT の活用について(教頭):児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう、ICT 機器の機能を活用した事例について紹介。(映像・写真で紹介)

- **授業における活用事例**
 - **朝の会(小学部)**: 児童が新聞記事から気になる記事を写真に撮り、コメントをつけて提示。写真に直接書き込むなど、加工ができる ICT の強みを活用。
 - **数学(中学部)**: 発話に困難さのある生徒が iPad を活用し、計算の答えを自分で入力して読み上げ機能を使って教師に伝える。
 - **美術(高等部)**: 教師の動きを写真に撮り、生徒が iPad で骨格や動きを書き込み、アニメーションの組み立てのように学習。
 - **英語(高等部)**: ALT との英会話で、生徒が iPad の翻訳機能・音声機能を使って、伝えたいことを英語で発話・表現。
 - **現場実習出発式(高等部)**: 言葉での表出が難しい生徒が iPad に決意表明を入力し、読み上げ機能を使って発表。

(2) 単元配列表の作成について(教務主任)

- 単元配列表の活用
 - 単元配列表は、各学部・教科ごとに作成し、内容の重複や学びの欠落がないよう、見直し・修正を行いながら活用している。
 - この表を参考に、新任の教員でも見通しを持って計画的に授業を構成できるようにしている。
- 学習内容の設定
 - 例えば、小学部の「姿を変える水」から、中学部の「雨水の行方」、高等部の「天気の様子と変化」など、系統性と発展性を持たせながら、児童生徒の実態に合わせて学習内容を設定している。
 - 前回いただいた「学習指導要領の目標の段階を明記してはどうか」という御意見について検討したが、グループごとの実態差が大きいため、単元配列表では学習内容に取りこぼしがないように網羅することを優先した。個別の指導計画作成の際に、児童生徒の実態に合わせて段階を明記することとしている。
- 教科等会議
 - 学部内及び学部間で教科の主担当が集まる会議を定期的に行い、情報交換や教科横断的な学習の計画、内容の見直しを行っている。

〈協議〉授業見学を通しての感想や意見について

委員	意見・感想
A 委員	ICT 機器を使いこなしている児童生徒の姿に感心した。先生方のご指導が素晴らしい。
B 委員	特別支援学校での ICT 活用は有効だと感じた。大人が使い方をコントロールすることが重要であり、今後も活用を推進してほしい。
C 委員	授業見学を通して、子どもたちが以前よりも落ち着いて学習に取り組んでいると感じた。また、高等部の生徒が持っている端末は学校貸与ではなく個人購入だと知った。
D 委員	以前施設は見学したが、授業見学は初めてで貴重な機会だった。高等部の福祉産業室で行われていた公共施設の役割と制度に関する授業は、非常に内容が充実していた。
E 委員	児童生徒一人ひとりの進路や能力の差が大きい中で、それに対応する先生方の御苦勞を感じた。いじめや ICT の活用事例から、意思や意見の表出の難しさに対するきめ細やかな配慮が見て取れた。

委員	意見・感想
F 委員	交流事業は共生社会の実現に向け非常に重要である。地域との垣根を取り払い、学校運営協議会の委員が学校と地域をつなぐハブとなり、情報発信と連携を密にすることが重要である。
G 委員	病院とは違う、落ち着いた授業の様子を拝見できた。ICT を活用した表出支援は、病院での診療や地域生活においても有用であり、今後も活用が進むことを期待する。
H 委員	児童生徒がのびのびとして素直であると感じた。地域や施設としても学校との連携を強め、子どもたちがのびのびと生きられる社会を共に作っていきたい。

(教頭)委員の皆様からの御意見のとおり、本学校運営協議会の趣旨、並びに今後の方向性について、まさにその通りであると深く共感している。今回、第2回の協議会を経て、皆様に本校の教育活動をより深くご理解いただけたと感じている。今後も、皆様のお力をお借りし、具体的な御意見・御助言をいただきたい。次回の第3回協議会は1月ではあるが、それを待たず、皆様との連携をいっそう深めたいと考えている。10月30日には『カフェベル』も営業される。ぜひお茶を飲みにいらっしゃるなど、気軽にお立ち寄りいただき、「先生、こんなこともできるよ」といった、建設的な御提案をいただければ大変ありがたい。

連絡報告事項

- 第3回学校運営協議会

- 日時:令和8年1月27日(火) 15時30分から17時00分